

## 医療福祉事例検討会に参加して

今号で12号となります。つば市役所で毎月、開催されている医療福祉事例検討会において、マッサージ師という職種およびマッサージの効用について知って頂く機会を設けさせて頂き、大変有り難く感じております。御礼申し上げます。

さて、我々も毎月のように参加させて頂くようになり、長い者は3年半になります。普段、鍼灸マッサージ師として、在宅や院内で臨床に立つ中では得られないような、各職種や訪問医の貴重な見解、病気、症状などの解説が勉強になりますし、多様な危機感をより一層感じられるようになっていきます。患者様やそのご家族の方とはもちろん、他職種の方との会話の上でも、ここで経験が役立つ場面が多々あります。

これからも多職種での勉強に励みたいと存じます。今後とも宜しくお願い致します。

## マッサージでできること⑫～症例を参考に

### 【圧迫骨折による腰痛と骨粗鬆症の改善】

Mさん(女性、82歳)

腰下肢痛。大動脈弁置換術後、約1カ月の入院をされたMさん。安静臥床が続いて筋力が低下した為、退院約1ヶ月後に腰椎圧迫骨折を起こしました。骨粗鬆症の診断を受け、薬を処方されましたが、めまいやふらつきなどの副作用が出たため、服用は中止されました。

体調に合わせて腰下肢痛のためのマッサージと機能訓練(スクワット等)を約1年続けた結果、腰痛はほぼ消失し、骨密度測定の結果は年齢基準値を超えていました。

骨粗鬆症の予防と改善のためにも、痛みを緩和しながら動かせる範囲を増やして、適度な運動を続けることが大切です。(のんき)



## スポーツ分野における鍼灸マッサージ師としての活動

私(小堀)は、茨城県代表の飛込競技チームのトレーナーとして、9月9日～11日まで行われた国体に参加して参りました。

選手たちとは、鍼灸マッサージ師として日頃からケガの相談や治療に携わっており、今大会は非常に良いコンディションで試合に臨めました。

私たち鍼灸マッサージ師は、大会期間中の疲れを癒したり、痛みを和らげるように施術をしますが、それだけでなく、選手たちに日頃からセルフケアを指導していたり、運動療法(トレーニング等)の処方もしています。そのため、選手たちは大会期間中でもそうした処方に沿って、自らコンディションを整えていました。

そのため、施術の依頼は、自分ではどうにもならない筋肉の張りや痛み、全身の疲れなどがある場合に受けました。試合前後で身体の全身状態を私が評価することで、ケガの発生やコンディションが悪くならないように、未然に防ぐこともできていたと思います。

大会中だけでなく普段でも、選手のケガやコンディション等を監督・コーチに報告してチーム内で情報を共有し、選手が試合において最高の演技ができるようにサポートしております。同様に、医療においても、チームとして情報を共有しながら、連携していくことが大切だと感じております。

今大会も選手たちが頑張ってくれたので、非常に嬉しく、収穫の多い大会でした。(こぼり)

最後までお読み頂いてありがとうございます。

当会や在宅医療マッサージについて、ご興味・ご関心をお持ち頂きましたら幸いです。

## 訪問医療マッサージを考える会つば

つば市内での在宅における訪問医療マッサージの現状を少しでも改善させ、利用者やその家族に喜ばれるよう、市内のマッサージ師(鍼灸師も含む)有志で2015年に結成しました。(2016年9月現在、マッサージ師8名、鍼灸師9名所属)

事務局:こぼり治療院(つば市横町368-5)  
029-869-9979  
info@kobori-chiryoin.com

## 訪問医療マッサージを考える会つくば 会員マップ



### 所属会員の治療院

- ① こぼり治療院（横町 368-5、029-869-9979）
- ② つくば草の根はりきゅう院（大角豆 2012-43、029-859-3648）
- ③ つくばの“のんき”治療院（千現2-11-11-105、070-2668-1551）
- ④ 成島治療院（土浦市荒川沖 495-2、029-875-4800）
- ⑤ リウト鍼灸治療院（高野台 2-6-1 シルクハイツ B-105、029-836-7000）

備考) 会員マップには、了承の得られている治療院を掲載しております。